

# 「もうけて エコ！」

## —飲み物容器から考える—

### 1. はじめに

家庭分野では、衣食住や消費生活などいろいろな内容に環境問題がかかわっている。

今、地球上で起こっている環境問題を被害者の立場だけでとらえるのではなく、「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」の日常生活が引き起こした消費者の生活実態に目を向けさせる必要がある。そこで中学生が自己の生活を見つめ問題解決できる学習活動が必要であると考える授業を計画した。

### 2. 研究の概要

生徒のレポート「家庭生活と環境」から、オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・砂漠化・ごみ問題・3Rなど言葉の知識はあっても、実生活とどのようにつながっているか、理解や具体性に欠けていることがわかった。そこで日常生活の具体例から問題意識を持たせ、一人一人の生活の在り方を考えさせる中で、これからの生活を展望し循環型社会の実現に向けての小さな実践的態度を育てることをねらいとした。

#### ①題材の指導目標

- ・「簡単・便利・快適な暮らし方」と「環境に配慮した暮らし方」から問題点や課題を見つけ、自分にとっての大切な暮らし方を考えさせる。
- ・ごみの処理方法から資源や環境に考慮する必要性を知り、環境への負荷ができるだけ少ない暮らし方ができるようにさせる。

#### ②指導と評価の計画（5時間）

1時	レポート（家庭生活と環境）から考える ・地球温暖化って何？
評価	・環境問題に関心を持ち、意見や感想を發表することができる
2時	暮らし方を見直す（1） ・「2つの もったいない」を考える

評価	・米（ごはん）や布（服）を例に生産・消費・廃棄の日常生活から「もったいない」に気づく ・「無駄をなくす」と「物を活かす」の必要性がわかる
3時	暮らし方を見直す（2） ・15年前から何が変わったのか？ ビデオ視聴 「地球にコンタクト ごみ問題」NHK出版
評価	・「目の前のものを 消すことはできない」ことの重大さに気づく ・生活環境の変化に伴うごみの種類や特徴と負荷の少ないごみ処理方法を考え工夫する
4時	環境に配慮した暮らし方（1） ・いろいろな飲み物容器の特徴と自治体の処理方法を知る ・こんなこと知っていた？ アルミのリサイクル効果、ワンウェイびんとリターナブルびん、デポジット
評価	・各容器のデータから、それぞれの特徴や状況を考察し、処理方法がわかる ・持続可能な循環型社会の実現に向けて、3Rの重要性和必要性がわかる
5時	環境に配慮した暮らし方（2） ・「もうけて エコ！」 ～ペットボトルから考える～
本時の目標	・日常の消費生活から、概念的エコ（リサイクル）の問題点や矛盾に気づく ・自分流の環境に配慮した暮らし方ができるようになる
学習内容と	確認する ・本時の目標「もうけて エコ！」を知る 飲み物容器から考える 日本とスウェーデンの飲み物容器のシェアを比較する 学習内容と ・スウェーデンが大切にしている環境対策について考える ・デポジットについて知る ペットボトルの処理方法を知る ・消費者、市町村、事業者のリサイクルシステムや役割分担、紀の川市の費用負担などを知る

生徒の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度のペットボトルの処理状況を知る</li> <li>ワークシートに考えをまとめ発表する</li> </ul> <p><b>自分のお金で考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>購入したお茶（ペットボトル入り）値段の内訳を知る</li> <li>事例について考える</li> </ul> <p>「Aちゃんは、今年の夏の暑さ対策と水分補給のために、登校途中学校前の自販機で、毎日1本ペットボトル入りのお茶を買った」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お茶代を計算する</li> <li>意見の交流をする</li> <li>お財布にも環境にも優しいエコ生活を考える</li> </ul> <p><b>日常化する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分流の環境に配慮した暮らし方をワークシートにまとめる</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトルのリサイクルシステムの問題点や矛盾がわかる</li> <li>3Rの優先順位がわかる</li> <li>自分流の環境に配慮した暮らし方ができるようになる</li> </ul>

☆運搬・保管などに市町村がいっぱいお金を出し、集めたペットボトルは日本でリサイクルされず外国へ輸出しているなんて思っていなかったし、おかしい。みんなは知っているのかな？

☆リサイクルすればすべてが良かったなんて思っていたから、驚いたし間違っていると思った。

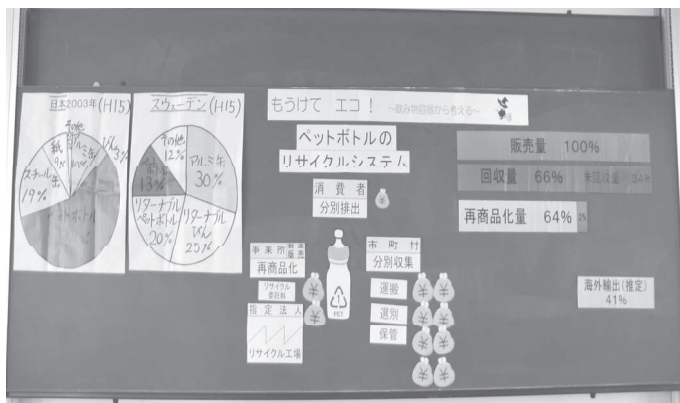
☆普段から食べ残しをしないようにしたり、電気の消し忘れをなくしたり、やっぱりしっかり意識して無駄のない暮らしが大事だ。

☆当たり前だけど何回も使える物は、捨てずに何回も使う。ペットボトルに何回かお茶を入れて使っている。

☆無駄をなくす。すぐに捨てない。大切に使う。

☆分別に多くのお金を使っているのだから、めんどろがらず自分できちんと分別して、少しでも税金を別のことに使ったらいい。

## 授業の掲示



## 生徒の感想や意見

☆日本はお手軽な1回使い切りを利用しているが、スウェーデンはリターナブルびんなどもう一度使える物を利用することでみんなが環境のことを考えているんだな。

☆デポジット制は容器の回収に効果がある。

## 3. おわりに

「エコ生活」といえばリサイクルと考えている生徒が多い。今回ペットボトルやリサイクル関連の費用を金額で示すことで、生徒はより身近なものとしてとらえることができたようである。容器包装リサイクル法の施行で、手軽で便利な使い捨て容器が増えよく利用するようになった。

しかしリサイクルはあくまでも処理方法の一つであり、限りある資源を大切にしていくことの必要性は理解できたようである。今後、日常生活での実践を期待すると共に、「食生活と自立」「衣生活・住生活と自立」の学習で環境に配慮する具体的な場面を取り上げ実践していきたい。

## 参考文献・参考Webページなど

- ・「スウェーデンの飲料容器のマーケットシェア」(Returpack 社資料より) 環境市民
- ・金丸弘美「フードクライシス」(ペットボトルの値段)